

令和5年度 日本獣医師会獣医学術賞の受賞者及び受賞研究業績

本年度の日本獣医師会獣医学術賞の選考は、「獣医学術奨励賞」は日本獣医師会雑誌の令和3年8月号（第74巻第8号）から令和5年7月号（第76巻第7号）に掲載された原著・短報を対象に、「獣医学術学会賞」は第41回獣医学術学会年次大会（令和5年度）において発表された地区学会賞の中から、「獣医学術功労賞」は推薦のあった永年の功労の業績の中から選考委員会において厳正に審査され、以下のとおり受賞者及び受賞研究業績を選考した。また、後日、本賞（賞状）及び協賛会社（日本全薬工業(株)、共立製薬(株)、日本ハム(株)）からの副賞（研究奨励金20万円）がそれぞれ受賞者に授与される（令和5年度の獣医学術賞の発表は、第41回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和5年度）において実施された。）。

令和5年度 日本獣医師会獣医学術賞受賞業績

【産業動物部門】

〔獣医学術奨励賞〕

妊娠豚へのワクチン接種時期と初乳摂取制限が
哺乳子豚の血清中豚熱中和抗体に及ぼす影響

野口倫子（麻布大学），他
〔選考理由〕 本論文は、哺乳子豚における豚熱移行抗体価のばらつきが大きいことの原因を明らかにするために、妊娠豚への豚熱ワクチン接種から分娩までの期間と新生豚への初乳摂取制限が哺乳子豚の豚熱抗体価に及ぼす影響を調査したものである。哺乳子豚の豚熱抗体価は、初乳摂取制限群で制限しない群に比べて有意な低値を、また、妊娠豚へのワクチン接種から分娩までの期間が長いものでは短いものに比べて有意な低値を示すことを明らかにした。哺乳子豚の豚熱抗体価に母豚へのワクチン接種時期と初乳摂取の有無が影響することを明示したものであることから、獣医学術奨励賞として推薦する。

〔獣医学術学会賞〕

高張食塩水が牛乳房炎原因菌のバイオフィルムに
及ぼす影響

西 航司（北海道農業共済組合
オホーツク統括センター），他

〔選考理由〕 経済的損失が問題となる牛の乳房炎について、難治性の原因としてバイオフィルムの関与が想定されているが、本研究は、乳房炎から分離された細菌が実際にバイオフィルムを形成することを *in vitro* で証明したうえで、高張食塩水による乳房洗浄がバイオフィルム除去を通じて難治性乳房炎の治療に有効であること
日獣会誌 77 174～176 (2024)

とを示したものである。研究成果は難治性乳房炎の治療に対して新たな選択肢を提供するものであり、抗菌薬の使用低減と臨床現場への普及が期待されることから、獣医学術学会賞に相応しい研究として推薦する。

〔獣医学術功労賞〕

生産者支援を目指した産業動物獣医療の
高度化ならびに技術普及と人材育成

小岩政照（酪農学園大学・名誉教授）

〔選考理由〕 小岩政照氏は、生産者支援を目的として産業動物獣医療の高度化と普及に取組み、生産現場では臨床獣医師として地域畜産業の発展に貢献し、また、大学教員として個体診療と生産獣医療に関する教育研究及び普及活動に取組み、研究成果を学術雑誌に公表するとともに、多くの学生に対して生産者支援の重要性を指導している。また、現在も生産現場での活動を続け、卒後教育の一端を担うなど獣医学術の発展と後進の指導育成に尽力している。さらに、同氏は本会と本学会の運営に長年にわたり多大な貢献をされたことから、獣医学術功労賞の授与がふさわしいと判断した。

【小動物部門】

〔獣医学術奨励賞〕

ミニチュアダックスフントの上顎犬歯歯周病の
特徴的な進行パターン

小川祐生（アミカペットクリニック・山口県），他

〔選考理由〕 本論文は、口腔鼻腔瘻の好発犬種であるミニチュアダックスフントにおける上顎犬歯歯周病の進行パターンを他犬種と比較し、ミニチュアダックスフントでは歯槽骨吸収が水平方向よりも口蓋側から垂直

方向へ大きく進行する特徴を有することを明らかにした。この成績は、小動物臨床の現場に有益な情報をもたらしたことから、獣医学術奨励賞として推薦する。

〔獣医学術学会賞〕

ラブラドール・レトリバーに発症する 網膜疾患スターガルト病の遺伝子型頻度の調査

鷹栖雅峰（那須野ヶ原アニマルクリニック）

〔選考理由〕 スターガルト病は中高齢のラブラドール・レトリバーに視覚障害を起こす遅発性網膜疾患であり、その責任遺伝子である *ABCA4* の一塩基挿入変異が原因である。本研究は盲導犬として使用されるラブラドール・レトリバーを対象に本変異の有無について解析したものであり、その結果、潜性ホモ型の個体が約9%、ヘテロ型が40%以上であることを明らかにした。これにより盲導犬として使用されるラブラドール・レトリバーには中高齢になってから視覚障害を発症する個体が一定数存在することが示唆され、今後の繁殖計画策定の際にはこの点を考慮する必要があることを示した。この結果は、今後の盲導犬の繁殖コントロールに対する重要な情報を提示したもので、獣医学術学会賞に相応しい研究として推薦する。

〔獣医学術功労賞〕

小動物における麻酔並びに 循環器病の薬物治療に関する研究

日笠喜朗（鳥取大学・名誉教授）

〔選考理由〕 日笠喜朗氏は、臨床獣医学、特に麻酔学及び薬物治療学を専門として主に小動物における鎮静と麻酔並びに循環器病の薬物治療に関する先端的研究を精力的に遂行し、その研究成果は獣医学のみならず医学の発展に寄与された。また、同氏は、日本獣医学会評議員、日本医画像診断学会評議員・理事、動物臨床医学会評議員・理事を長年務められ、日本獣医師会においては、日本小動物獣医学会理事、日本産業動物獣医学会理事、日本小動物獣医学会副学会長などを歴任され、日本獣医師会の学術活動や運営に大きく貢献をされたことから、獣医学術功労賞の授与がふさわしいと判断した。

〔公衆衛生部門〕

〔獣医学術奨励賞〕

動物介在療法による不登校児童生徒への支援

松澤淑美（長野県動物愛護センター）、他

〔選考理由〕 本論文では、不登校・ひきこもり等の子ども

達の行動改善に対する動物介在療法の有用性を検討し、動物介在療法は、当該の子ども達の行動による変化をもたらすと同時に、その効果を客観的な数値として示している。不登校・ひきこもりの児童や生徒への支援は、社会から大きな期待が寄せられている分野であり、動物介在療法がその対策に有用なツールとなる可能性を示したことは高く評価できることから、本論文を獣医学術奨励賞に推薦する。

〔獣医学術学会賞〕

電子申請システムを活用した食中毒調査手法の 検討について

浅沼貴文（静岡市保健福祉長寿局保健衛生医療部）、他

〔選考理由〕 食中毒調査における患者の聞き取り調査は、患者に直接あるいは電話を通じて行っているが、患者への負担が大きく、また患者が県外に在住している場合等は、追跡が困難なことがある。さらに、大規模な事例では保健所業務の負担は大きい。本研究では、オンラインの行政手続きで利用されている電子申請システムを活用して、スマートフォンを介して調査を行うことができる方法を開発し、実際に発生した4名の食中毒事例に応用している。今後、大規模な食中毒事例が発生した場合、患者や行政の負担を軽減できる調査システムとして有用な手法であることから、獣医学術学会賞に相応しい研究として推薦する。

〔獣医学術功労賞〕

カンピロバクター食中毒の防除に関する研究

三澤尚明（宮崎大学・名誉教授）

〔選考理由〕 三澤尚明氏は、主要な食中毒の原因菌であるカンピロバクターの病原性に関する先端的な研究を長年にわたり展開され、鶏肉由来株によってもギランバレー症候群が起こる可能性を示し、日本獣医師会学術奨励賞を受賞された。さらに、日本獣医公衆衛生学会の副学会長並びに九州地区学会長を歴任されるとともに、日本獣医師会が実施するアジア地域臨床獣医師等総合研修及びネットワーク構築事業を通してアジアにおける人材育成・技術普及にも尽力され、日本獣医師会の運営・発展に多大な貢献をされた。これらのことから、獣医学術功労賞を授与されるにふさわしいと判断した。



令和5年度 日本獣医師会獣医学術賞 発表と授与式

日本獣医師会獣医学術賞協賛企業：日本全薬工業株式会社、共立製薬株式会社、日本ハム株式会社



令和5年度日本獣医師会獣医学術賞受賞者及び協賛各社

左から野口倫子（代理）、西航司、小岩政照（代理）、福井寿一（日本全薬工業株式会社代表取締役社長）、小川祐生、藏内勇夫（(公社)日本獣医師会会長）、鷹栖雅峰、日笠喜朗、宮原佑輔（共立製薬株式会社CA営業本部CA西日本営業部部長）、松澤淑美、浅沼貴文、三澤尚明、岩間清（日本ハム株式会社中央研究所所長）（敬称略）